

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-331400

(43)Date of publication of application : 30.11.2001

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

H04Q 7/38

H04M 11/00

(21)Application number : 2000-148869

(71)Applicant : HOLONIC COMPUTER CORP

(22)Date of filing : 19.05.2000

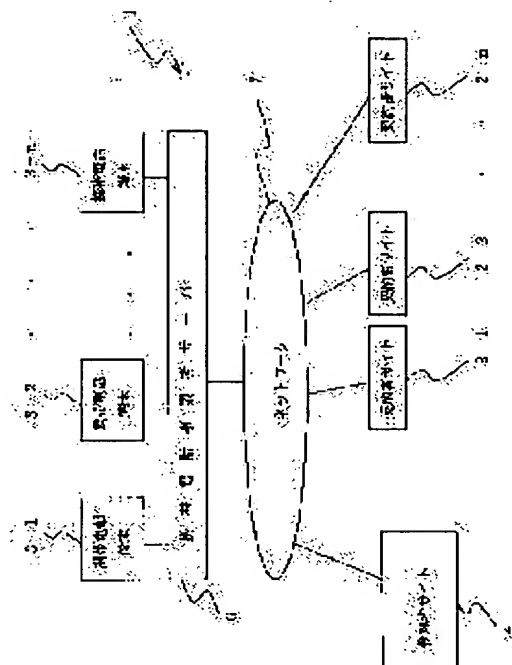
(72)Inventor : HORIGOME WACHIE

(54) SYSTEM AND METHOD FOR SUPPORTING HOME PAGE CONNECTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily connect a portable telephone with an internet connection function to a subscriber site with few keystrokes.

SOLUTION: A telephone call is originated from the portable telephone with the Internet connection function to a manager site, mail recorded with the URL of the manager site is transmitted from the manager site to the portable telephone with the Internet connection function and by designating the URL recorded in the mail from the portable telephone with the Internet connection function, and the telephone is connected to the manager site and further connected from the manager site to the subscriber site.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

21.11.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3238923

[Date of registration]

05.10.2001

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-331400
(P2001-331400A)

(43) 公開日 平成13年11月30日 (2001. 11. 30)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
G 0 6 F 13/00	5 1 0	G 0 6 F 13/00	5 1 0 C 5 K 0 6 7
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 M 11/00	3 0 3 5 K 1 0 1
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 B 7/26	1 0 9 M

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-148869 (P2000-148869)

(22) 出願日 平成12年 5 月19日 (2000. 5. 19)

(71) 出願人 599153460

株式会社 ホロニック・コンピュータ
千葉県印旛郡白井町大山口二丁目 4 番14棟
301号

(72) 発明者 堀米 和智恵

千葉県印旛郡白井町大山口二丁目 4 番14棟
301号

(74) 代理人 100081271

弁理士 吉田 芳春

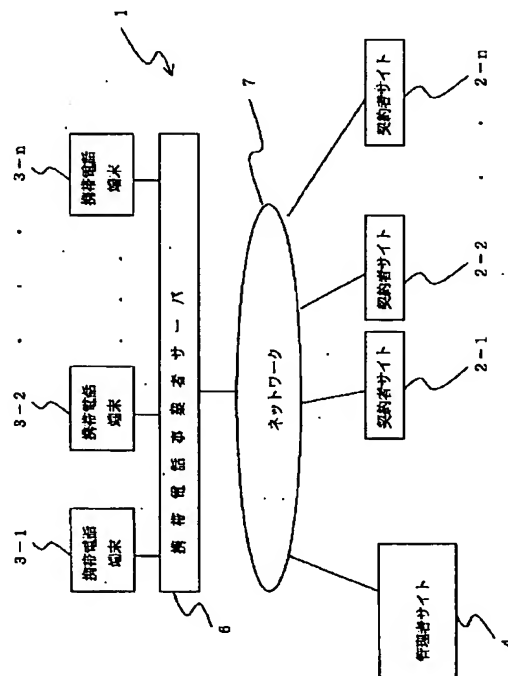
F ターム (参考) 5K067 AA34 BB04 BB21 EED2 EE10
EE16 HH05 HH21
5K101 KK02 LL02 LL12 PP03 RR12

(54) 【発明の名称】 ホームページ接続支援システム及びホームページ接続支援方法

(57) 【要約】

【課題】 インターネット接続機能付き携帯電話から、キー入力を少なく契約者サイトに容易に接続する。

【解決手段】 インターネット接続機能付き携帯電話から管理者サイトに電話をし、管理者サイトから管理者サイトの URL が記録されたメールをインターネット接続機能付き携帯電話に送信し、インターネット接続機能付き携帯電話からメールに記録されている URL を指定することにより、管理者サイトに接続し、さらに、管理サイトから契約者サイトに接続する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、

前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項2】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、

前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することで契約者サイトのホームページに接続されることを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項3】 請求項1または2記載のホームページ接続支援システムにおいて、URL情報作成部は、前記電話番号を含むメールアドレスとURL情報を記録したメールを作成することを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項4】 請求項2記載のホームページ接続支援システムにおいて、前記管理者サイトには、前記契約者サイトのURLを登録するメニュー情報登録部と、契約者サイトをメニュー形式で表示するホームページ表示部を備えることを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項5】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することを特徴とするホームページ接続支援方法。

【請求項6】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話

番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続し、さらに管理者サイトでは契約者サイトの前記URLにより契約者サイトに接続することを特徴とするホームページ接続支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット接続機能を有する携帯電話端末とホームページを提供するサイトとの通信接続に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、インターネットなどの商業通信回線で任意のホームページを表示する場合は、URLを入力する。これは、インターネット接続機能を有する携帯電話においても同様に行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、キーボードからのURLの入力は、比較的容易にできるが、携帯電話でURLを入力するには、数字キーを英字入力モードで使うため1文字入力するのに何度も同じキーを押す必要があった。例えば、「B」は英字入力モードで数字キーの「2」を2回押すと表示される。したがって、URL全てを入力するにはキーボードから入力する場合の数倍のキー入力が必要であった。それにより、操作ミスが頻繁に起こる可能性があった。

【0004】本発明は、このような問題を鑑みてなされたもので、その目的とするところは、インターネット接続機能を有する携帯電話から、数少ないステップの操作でホームページを表示可能にすることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために、本発明に係るホームページ接続支援システムは、携帯電話端末から管理者サイトへの電話を受けた後、管理者サイトのURLをメールで送りメニュー形式で各契約者サイトに接続できるよう支援するホームページ接続支援システムであって次のような手段を採用する。

【0006】即ち、請求項1では、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することを特徴とする。

【0007】上記構成によれば、携帯電話端末から管理者サイトに電話をすると、発信者番号通知機能で受信した電話番号よりメールアドレスを作成し、メールで管理

者サイトのURLを、商用通信回線を介して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末からは、送られてきたURLを指定すると管理者サイトに接続することができる。

【0008】請求項2では、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することで契約者サイトのホームページに接続されることを特徴とする。

【0009】上記構成によれば、携帯電話端末から管理者サイトに電話をすると、発信者番号通知機能で受信した電話番号よりメールアドレスを作成し、メールで管理者サイトのURLを、商用通信回線を介して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末からは、送られてきたURLを指定すると管理者サイトに接続し、さらに契約者サイトを表示することができる。

【0010】請求項3では、URL情報作成部は、前記電話番号を含むメールアドレスとURL情報を記録したメールを作成することを特徴とする。

【0011】上記構成では、メールで管理者サイトのURLを送信することができる。

【0012】請求項4では、管理者サイトには、前記契約者サイトのURLを登録するメニュー情報登録部と、契約者サイトをメニュー形式で表示するホームページ表示部を備えることを特徴とする。

【0013】上記構成では、メニュー形式で契約者サイトを探すことができる。

【0014】本発明のホームページ接続支援方法では、請求項5のように、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することを特徴とする。

【0015】上記方法では、携帯電話端末から管理者サイトに電話すると管理者サイトのURLが入ったメールが送信され、そのメールより管理者サイトのURLを指定することにより管理者サイトに接続できる。

【0016】本発明のホームページ接続支援方法では、請求項6のように、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイ

トとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続し、さらに管理者サイトでは契約者サイトの前記URLにより契約者サイトに接続することを特徴とする。

【0017】上記方法では、携帯電話端末から管理者サイトに電話すると管理者サイトのURLが入ったメールが送信され、そのメールより管理者サイトのURLを指定することにより管理者サイトに接続でき、さらに、管理者サイトのメニューより契約者サイトに接続することができる。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は本発明の1実施の形態であるホームページ接続支援システム1の構成を示す図である。図1に示すように、ホームページ接続支援システム1は、複数の契約者がホームページを開いている契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nと、管理者サイト4とがネットワーク7を介して接続される。また、複数の携帯電話端末3-1、3-2、・・・、3-nが携帯電話事業者サーバ6を介してネットワーク7に接続される。

【0019】図2は、ホームページ接続支援システムの機能を示すブロック図である。管理者サイトには、URL通知部4-1とURL管理部4-2を備えている。URL通知部4-1には検出部8が設けられ、携帯電話端末3からの電話は検出部8で受け、検出部8では発信者番号通知機能より携帯電話端末3の電話番号300を検出し、URL情報作成部10に送る。URL情報作成部10は管理者サイト4のURL320が記録されたメール310を作成し、検出した電話番号300よりメールアドレスを作成する。送信部9はメールを携帯電話端末3に送信する。また、携帯電話端末3より管理サイト4のURL320を送信し、管理者サイト4はホームページ330を携帯電話端末3に送信する。

【0020】URL情報作成部10は、携帯電話端末用データベース200に接続され、新たに接続してきた携帯電話端末3の情報を携帯電話端末ユーザ情報210で蓄えていく。この携帯電話端末ユーザ情報210は課金のために利用される。

【0021】URL管理部4-2は、契約者サイト2のホームページのメニューなどを表示するホームページ表示部20と、契約者サイト2を管理者サイト4のメニューに登録するメニュー情報登録部30とからなる。

【0022】また、ホームページ情報表示部20はメニュー用データベース100に格納されているメニュー表

示する内容が入っているメニュー情報110やメニューの詳細な内容が入っている契約者サイト情報120を参照する。

【0023】管理者端末4-3は、URL管理部4-2のメニュー情報登録部30に接続し、メニュー情報登録部30を利用して契約者サイト2のURLやメニューに関する情報をメニュー情報110や契約者サイト情報120に登録する。

【0024】図3から図6は、管理者サイト4で蓄えられるデータを示す図である。まず、図3に示すように、メニュー表示するためのメニュー情報110がある。メニュー情報110の管理番号111にはトップメニューでは「0」が入力され、それ以外のときはユニークに決められた数字が入力される。メニュー内容112には、メニューに表示されるジャンルや項目名が入力され、リンクタイプ113には、メニューを表す「階層」と、契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nのURLを表す「リンク」とがある。URL114には、契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nのURLを格納し、NULLであればサブアイテムがあることを表す。親管理番号115には、階層元になっているメニュー情報の管理番号111が格納される。

【0025】図4に示すように、メニュー情報110で構成されるメニューの階層構造を表す。まず、トップメニュー110-1では、管理番号111は「0」が格納され、トップメニューに表示されるアイテムのメニュー情報110-2、110-3、110-4の親管理番号115には、トップメニューの管理番号111である「0」が格納される。さらに、管理番号「7」のアイテムに続くメニュー情報は110-5、110-6の親管理番号115には、「7」が格納される。

【0026】図5に示すように、メニュー情報110に登録する前に契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nの情報を登録する契約者サイト情報120がある。契約者サイト情報120は、契約者のユーザID121と登録するサイトのURLである登録URL122、サイトの詳細な説明であるサイト説明123、サービス開始年月日124、メニュー情報110で設定する管理番号111から構成される。

【0027】図6に示すように、携帯電話端末3の情報を管理する携帯電話端末ユーザ情報210がある。携帯電話端末ユーザ情報210には携帯電話端末の電話番号212と対をなした記号化された携帯電話端末ユーザID211を設定し、電話番号212、携帯電話メールアドレス213、管理者サイト4に初めてアクセスした登録日214で構成される。

【0028】図7は、管理者端末4-3でメニューあるいはURLに登録するときのフローチャートであり、図8から図10はメニュー情報登録部30で表示する管理画面である。

【0029】まず、管理者端末4-3よりメニュー情報登録部30に接続すると(1001)、図8に示すように管理画面50が表示される(1002)。ここで表示されるメニューは、メニュー情報110の親管理番号115が「0」のもので、メニュー情報110の管理番号111とメニュー内容112が表示されている。

【0030】次に、編集するメニューの管理番号111の処理(編集)を選択、あるいは、メニュー追加を行う(1003)。例えば管理番号111を「7」と選択すると、図9に示すような編集画面51に、管理番号111が「7」のメニュー情報110である管理番号111・メニュー内容112・リンクタイプ113・URL114・親管理番号115が表示される。さらに、メニュー情報110の中から親管理番号が「7」を指しているものを探して、編集画面51のサブアイテム欄51-1にそれぞれの管理番号111とメニュー内容112を表示する。

【0031】ここで、表示されたリンクタイプ113が「階層」であれば(1004)、更に、次のサブアイテムを選択することができる(1005)。また、サブアイテムを選択せずに、登録内容を変更や削除、アイテムを追加することができる(1006)。

【0032】編集画面51から内容112を変更すると、メニュー情報110の内容112が書き換えられる。また、リンクタイプを変更し「階層」から「リンク」にし、接続するサイトのURLをメニュー情報110の113に入力すると、メニュー情報110のリンクタイプ113とURL114をそれぞれ設定する。リンクタイプを「リンク」にすると、サブアイテム欄51-1は表示されない。また、追加をすると新しいメニュー情報110を獲得し、その親管理番号115に、元になるメニュー情報110の管理番号111である「7」を設定する。

【0033】あるいは、サブアイテムの構成を編集するために、サブアイテムを選択するとサブアイテムの編集画面となる。ここで、表示されたリンクタイプ113が「リンク」であれば、図10に示すような表示となり契約者サイトのURLがURL114に表示され、登録内容を変更や削除が行える(1007)。

【0034】この編集画面52で、リンクタイプ113を「リンク」を「階層」にするとURLは表示されず、図9の編集画面となる。以上の操作を繰り返し、アイテムの追加・削除を行い、メニュー情報110を階層構造につないでいく。

【0035】このメニュー情報110に登録する前に各契約者の情報は、契約者サイト情報120に、ユーザID121・登録するURL122・サイトの具体的な説明であるサイト説明123・サービスを開始したサービス開始年月日124とメニュー情報対応する管理番号111を設定し、管理者サイト4が各契約者サイト2を管

理するのに利用する。

【0036】次に、図11のフローチャートにもとづき携帯電話端末3から契約者サイト2のホームページに、管理者サイト4のメニューから選択して接続する方法について説明する。

【0037】まず、携帯電話端末3から、管理者サイト4に電話をすると(2000)、管理者サイト4は検出部8で電話を受ける。検出部8では、発信者番号通知機能より携帯電話端末3の電話番号300を検出する(3000)。検出部8はURL情報作成部10に電話番号300を通知すると、URL情報作成部10で管理者サイト4のURLが記録されたメール310を作成する。さらに、携帯電話端末3の電話番号300の後ろに「@」と、その携帯電話事業者のドメイン名301、「〇〇〇〇.××.△△」を続けて図13に示すようにメールアドレスを作成し、このメールアドレスに作成したメール310をメール送信部9より送信する(3001)。

【0038】また、携帯電話端末3からの受信が新規の場合には、携帯電話端末ユーザ情報210の携帯電話端末ユーザID211・電話番号212・携帯電話メールアドレス213・登録日214を設定する。これにより、課金処理を行う。

【0039】URL通知部4-1から送られたメール310はネットワーク7を介して、さらに、携帯電話事業者サーバ6から各携帯電話端末3に送られる。以降、ネットワーク7と携帯電話端末3の間には、携帯電話事業者サーバ6が介されるものとする。携帯電話端末3では、図14に示すような管理者サイト4のURL320が記録されたメール310を受信し(2001)、受信したメール310を開き(2002)、管理者サイト4のURL320を指定する(2003)。

【0040】指定した管理者サイト4のURL320を送信すると(2004)、管理者サイト4でURL320が選択されたのを受信し(3002)、管理者サイト4のホームページ330を送信する(3003)。

【0041】携帯電話端末3では、管理者サイト4のホームページ330を受信すると(2005)、ブラウザを通して図15に示すようなメニューが表示される(2006)。メニューは、管理者サイト4のホームページ表示部20がメニュー情報110に基づいてホームページを作成する。

【0042】携帯電話端末3からは、メニューの階層をたどって選択していき、アクセスしたい契約者サイト2のホームページを選択すると(2007)、管理者サイト4に契約者サイトのホームページの選択を送信する(2008)。管理者サイト4でホームページの選択を受信すると(3004)、登録されている契約者サイト2のURLから契約者サイト2に接続できる。

【0043】このように、本実施の形態によれば、携帯

電話端末3より管理者サイト4に電話をするだけで携帯電話端末3に管理者サイト4のURL320が記録されたメール310が送られてくる。このメールに入っている管理者サイト4のURL320を指定するだけで、管理者サイト4のURL320を入力しなくても契約者サイトおよび管理サイトを開くことができる。

【0044】また、携帯電話端末3よりかけた電話は、電話番号の検出のみに使い、通話状態になってない。

【0045】あるいは、第2の実施の形態として携帯電話端末3よりかけた電話を、通話状態にした後、切断して携帯電話端末3から契約者サイト2のホームページに接続することもできる。図12のフローチャートにもとづき説明する。

【0046】まず、携帯電話端末3から、管理者サイト4に電話をすると(2010)、管理者サイト4は検出部8で電話を受け通話とする(3010)。検出部8で、発信者番号通知機能より携帯電話端末3の電話番号300を検出後、通話を切断する(3011)。検出部8はURL情報作成部10に電話番号300を通知すると、URL情報作成部10で管理者サイト4のURLが記録されたメール310を作成する(3012)。

【0047】以下、携帯電話端末3よりかけた電話は、電話番号の検出のみに使い、通話状態にしない場合と同様の処理を行う。

【0048】このように、第2の実施の形態によれば、携帯電話端末3より管理者サイト4に電話をかけ通話状態にした後、通話を切断して管理者サイト4のURL320が記録されたメール310を送り、管理者サイト4のURL320を入力しなくても契約者サイトおよび管理サイトを開くことができる。

【0049】以上、述べてきた携帯電話端末はPHSをも含む概念である。

【0050】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、インターネット接続機能を有する携帯電話から、URLを全て入力することなく、管理者サイトに電話をすることにより、電話番号の入力と数ステップのボタン操作だけで、ホームページを表示可能になるので、何時でも、何処でも、に加え、誰でも容易にインターネットを利用することができる。

【0051】また、インターネット接続機能を有する携帯電話から、管理者サイトに電話をかけ管理者サイトのホームページの表示をし、さらに、管理者サイトに登録した契約者サイトをメニュー形式で表示し、他の契約者サイトに簡単に接続できる。

【0052】さらに、メニュー形式で表示されるのでジャンル別に選択していくことができ、携帯電話端末からでも接続したい契約者サイトを容易に探すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 ホームページ接続支援システム1の構成を示す図である。

【図2】 ホームページ接続支援システムの機能を示すブロック図である。

【図3】 メニュー情報の内容を示す図である。

【図4】 メニュー情報が階層となっている状態を示す図である。

【図5】 契約者サイト情報の内容を示す図である。

【図6】 携帯電話端末ユーザ情報の内容を示す図である。

【図7】 メニュー情報を登録処理のフローチャートである。

【図8】 メニュー情報登録するときの管理画面を表す図である。

【図9】 メニュー情報登録するときのリンクタイプが階層の時の編集画面を表す図である。

【図10】 メニュー情報登録するときのリンクタイプがリンクの時の編集画面を表す図である。

【図11】 管理者サイトと通話せずに携帯電話端末から接続するときの処理を表すフローチャートである。

【図12】 管理者サイトと通話後切断して携帯電話端末から接続するときの処理を表すフローチャートである。

【図13】 携帯電話端末のメールアドレスを表す図である。

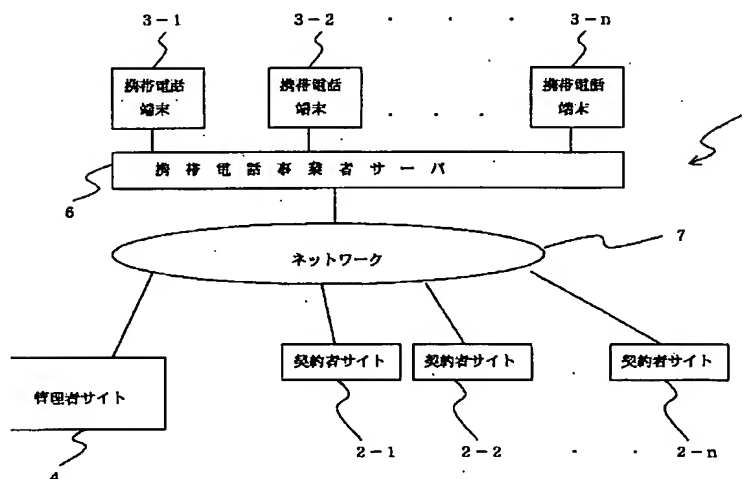
【図14】 携帯電話端末の画面に着信メールに入っている管理者サイトのURLを表示している図である。

【図15】 携帯電話端末の画面に管理者サイトのメニューを表示している図である。

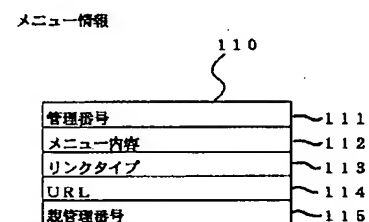
【符号の説明】

- 1 ホームページ接続支援システム
- 2、2-1、2-2、2-n 契約者サイト
- 3、3-1、3-2、3-n 携帯電話端末
- 4 管理者サイト
- 4-1 URL通知部
- 4-2 URL管理部
- 4-3 管理者端末
- 6 携帯電話事業者サーバ
- 7 ネットワーク
- 8 検出部
- 9 メール送信部
- 10 URL情報作成部
- 20 ホームページ表示部
- 30 メニュー情報登録部
- 100 メニュー用データベース
- 110 メニュー情報
- 120 契約者サイト情報
- 200 携帯電話端末用データベース
- 210 携帯電話端末ユーザ情報
- 300 携帯電話端末の電話番号
- 310 管理者サイトのURLが記録されたメール
- 320 管理者サイトのURL
- 330 管理者サイトのホームページ

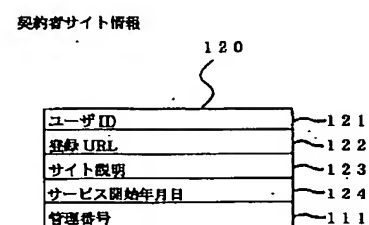
【図1】



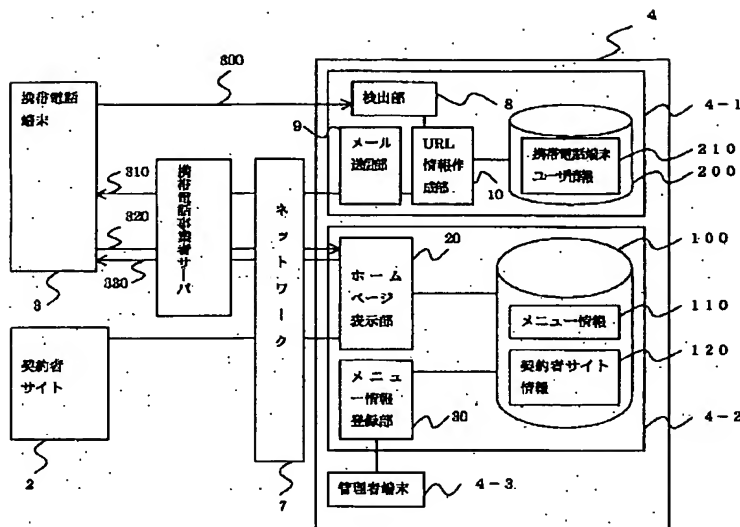
【図3】



【図5】

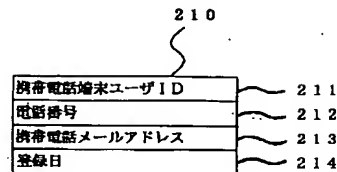


【図2】



【図6】

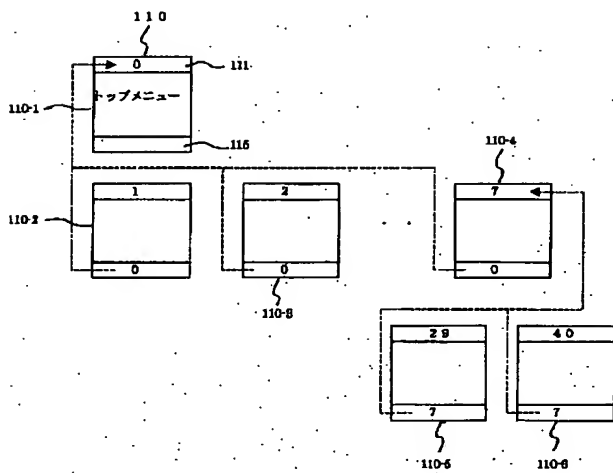
携帯電話端末ユーザ情報



【図13】

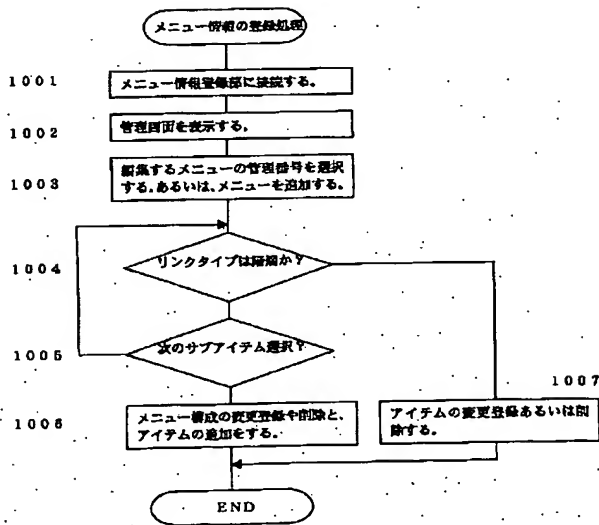
090xxxxxxx@0000.xx.△△
300 301
ドメイン名

【図4】



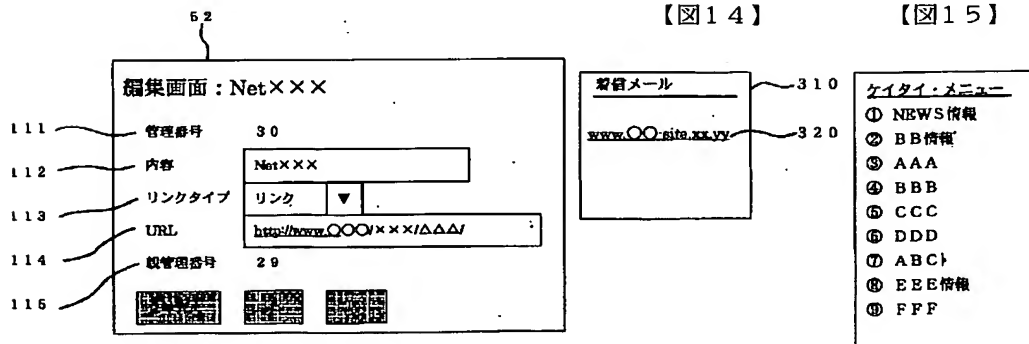
【図10】

【図7】



【図14】

【図15】



【図8】

112 5.0

管理画面

管理番号	内容	処理
1	NEWS情報	編集
2	BB情報	編集
3	AAA	編集
4	BBB	編集
5	CCC	編集
6	DDD	編集
7	ABC	編集
8	EEE情報	編集
9	FFF	編集

11.1

【図9】

5.1

編集画面: ABC

11.1 管理番号 7

11.2 内容 ABC

11.3 リンクタイプ 附属 ▼

11.4 URL

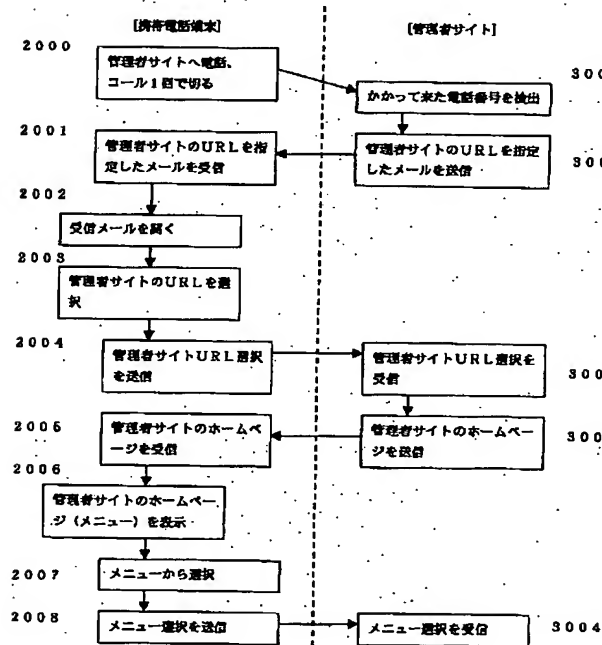
11.5 親管理番号 0

サブアイテム処理

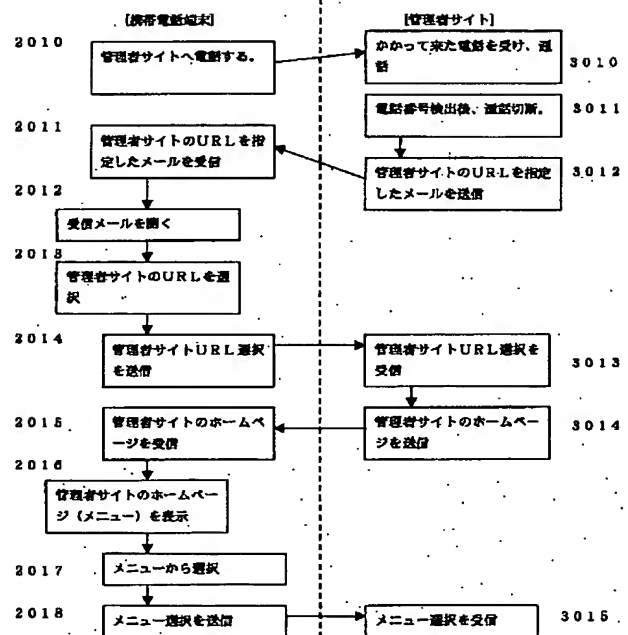
管理番号	内容	処理
2.9	XXX	編集
4.0	YYY	編集

5.1-1

【図11】



【図12】



【手続補正書】

【提出日】平成13年3月21日(2001.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】ホームページ接続支援システム及びホームページ接続支援方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、

前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金するための携帯電話端末ユーザ情報を蓄える携帯端末用データベースを備えることを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項2】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、

前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することで契約者サイトのホームページに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金するための携帯電話端末ユーザ情報を蓄える携帯端末用データベースを備えることを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項3】 請求項2記載のホームページ接続支援システムにおいて、前記管理者サイトには、前記契約者サイトのURLを登録するメニュー情報登録部と、契約者サイトをメニュー形式で表示するホームページ表示部を備えることを特徴とするホームページ接続支援システム。

【請求項4】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金することを特徴とするホームページ接続支援方法。

【請求項5】 インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、

携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続した後、管理者サイトでは契約者サイトの前記URLにより契約者サイトに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金することを特徴とするホームページ接続支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット接続機能を有する携帯電話端末とホームページを提供するサイトとの通信接続に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、インターネットなどの商業通信回線で任意のホームページを表示する場合は、URLを入力する。これは、インターネット接続機能を有する携帯電話においても同様に行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、キーボードからのURLの入力は、比較的容易にできるが、携帯電話でURLを入力するには、数字キーを英字入力モードで使うため1文字入力するのに何度も同じキーを押す必要があった。例えば、「B」は英字入力モードで数字キーの「2」を2回押すと表示される。したがって、URL全てを入力するにはキーボードから入力する場合の数倍のキー入力が必要であった。それにより、操作ミスが頻繁に起こる可能性があった。

【0004】本発明は、このような問題を鑑みてなされたもので、その目的とするところは、インターネット接続機能を有する携帯電話から、数少ないステップの操作でホームページを表示可能にすることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために、本発明に係るホームページ接続支援システムは、携帯電話端末から管理者サイトへの電話を受けた後、管理者サイトのURLをメールで送りメニュー形式で各契約者サイトに接続できるよう支援するホームページ接続支援システムであって次のような手段を採用する。

【0006】即ち、請求項1では、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定

して管理者サイトに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金するための携帯電話端末ユーザ情報を蓄える携帯端末用データベースを備えることを特徴とする。

【0007】上記構成によれば、携帯電話端末から管理者サイトに電話をすると、発信者番号通知機能で受信した電話番号よりメールアドレスを作成し、メールで管理者サイトのURLを、商用通信回線を介して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末からは、送られてきたURLを指定すると管理者サイトに接続することができる。さらに、管理者サイトに、接続してきた前記携帯電話端末に課金することが可能である。

【0008】請求項2では、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、管理者サイトは、前記携帯電話端末の電話番号を検出する検出部と、前記電話番号を含むメールアドレスを作成するURL情報作成部と、前記URL情報を送信するメール送信部とを備え、前記携帯電話端末は、前記URL情報を受信し、前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続することで契約者サイトのホームページに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金するための携帯電話端末ユーザ情報を蓄える携帯端末用データベースを備えることを特徴とする。

【0009】上記構成によれば、携帯電話端末から管理者サイトに電話をすると、発信者番号通知機能で受信した電話番号よりメールアドレスを作成し、メールで管理者サイトのURLを、商用通信回線を介して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末からは、送られてきたURLを指定すると管理者サイトに接続し、さらに契約者サイトを表示することができる。さらに、管理者サイトに、接続してきた前記携帯電話端末に課金することが可能である。

【0010】請求項3では、管理者サイトには、前記契約者サイトのURLを登録するメニュー情報登録部と、契約者サイトをメニュー形式で表示するホームページ表示部を備えることを特徴とする。

【0011】上記構成では、メニュー形式で契約者サイトを探することができる。

【0012】本発明のホームページ接続支援方法では、請求項4のように、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続し、さらに、管理者サイトは、接

続してきた前記携帯電話端末に課金することを特徴とする。

【0013】上記方法では、携帯電話端末から管理者サイトに電話すると管理者サイトのURLが入ったメールが送信され、そのメールより管理者サイトのURLを指定することにより管理者サイトに接続できる。さらに、管理者サイトに、接続してきた前記携帯電話端末に課金することが可能である。

【0014】本発明のホームページ接続支援方法では、請求項5のように、インターネット接続機能を有する携帯電話端末と、ホームページのURL情報を管理する管理者サイトと、管理者サイトにリンクされる契約者サイトとが商業通信回線を介して接続され、携帯電話端末から管理者サイトへ電話し、管理者サイトでは発信者番号通知機能により電話番号を検出後、電話番号を含むメールアドレスを作成するとともに管理者サイトのURLを記録したメールを作成して携帯電話端末に送信し、携帯電話端末では前記URL情報のURLを指定して管理者サイトに接続した後、管理者サイトでは契約者サイトの前記URLにより契約者サイトに接続し、さらに、管理者サイトは、接続してきた前記携帯電話端末に課金することを特徴とする。

【0015】上記方法では、携帯電話端末から管理者サイトに電話すると管理者サイトのURLが入ったメールが送信され、そのメールより管理者サイトのURLを指定することにより管理者サイトに接続でき、さらに、管理者サイトのメニューより契約者サイトに接続することができる。さらに、管理者サイトに、接続してきた前記携帯電話端末に課金することが可能である。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、図面に基いて本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は本発明の1実施の形態であるホームページ接続支援システム1の構成を示す図である。図1に示すように、ホームページ接続支援システム1は、複数の契約者がホームページを開いている契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nと、管理者サイト4とがネットワーク7を介して接続される。また、複数の携帯電話端末3-1、3-2、・・・、3-nが携帯電話事業者サーバ6を介してネットワーク7に接続される。

【0017】図2は、ホームページ接続支援システムの機能を示すブロック図である。管理者サイトには、URL通知部4-1とURL管理部4-2を備えている。URL通知部4-1には検出部8が設けられ、携帯電話端末3からの電話は検出部8で受け、検出部8では発信者番号通知機能より携帯電話端末3の電話番号300を検出し、URL情報作成部10に送る。URL情報作成部10は管理者サイト4のURL320が記録されたメール310を作成し、検出した電話番号300よりメールアドレスを作成する。送信部9はメールを携帯電話端末

3に送信する。また、携帯電話端末3より管理サイト4のURL320を送信し、管理者サイト4はホームページ330を携帯電話端末3に送信する。

【0018】URL情報作成部10は、携帯電話端末用データベース200に接続され、新たに接続してきた携帯電話端末3の情報を携帯電話端末ユーザ情報210で蓄えていく。この携帯電話端末ユーザ情報210は課金のために利用される。

【0019】URL管理部4-2は、契約者サイト2のホームページのメニューなどを表示するホームページ表示部20と、契約者サイト2を管理者サイト4のメニューに登録するメニュー情報登録部30とからなる。

【0020】また、ホームページ情報表示部20はメニュー用データベース100に格納されているメニュー表示内容が入っているメニュー情報110やメニューの詳細内容が入っている契約者サイト情報120を参照する。

【0021】管理者端末4-3は、URL管理部4-2のメニュー情報登録部30に接続し、メニュー情報登録部30を利用して契約者サイト2のURLやメニューに関する情報をメニュー情報110や契約者サイト情報120に登録する。

【0022】図3から図6は、管理者サイト4で蓄えられるデータを示す図である。まず、図3に示すように、メニュー表示するためのメニュー情報110がある。メニュー情報110の管理番号111にはトップメニューでは「0」が入力され、それ以外のときはユニークに決められた数字が入力される。メニュー内容112には、メニューに表示されるジャンルや項目名が入力され、リンクタイプ113には、メニューを表す「階層」と、契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nのURLを表す「リンク」とがある。URL114には、契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nのURLを格納し、NULLであればサブアイテムがあることを表す。親管理番号115には、階層元になっているメニュー情報の管理番号111が格納される。

【0023】図4に示すように、メニュー情報110で構成されるメニューの階層構造を表す。まず、トップメニュー110-1では、管理番号111は「0」が格納され、トップメニューに表示されるアイテムのメニュー情報110-2、110-3、110-4の親管理番号115には、トップメニューの管理番号111である「0」が格納される。さらに、管理番号「7」のアイテムに続くメニュー情報は110-5、110-6の親管理情報115には、「7」が格納される。

【0024】図5に示すように、メニュー情報110を登録する前に契約者サイト2-1、2-2、・・・、2-nの情報を登録する契約者サイト情報120がある。契約者サイト情報120は、契約者のユーザID121と登録するサイトのURLである登録URL122、サ

イトの詳細な説明であるサイト説明122、サービス開始年月日123、メニュー情報110で設定する管理番号111から構成される。

【0025】図6に示すように、携帯電話端末3の情報を管理する携帯電話端末ユーザ情報210がある。携帯電話端末ユーザ情報210には携帯電話端末の電話番号212と対をなし記号化された携帯電話端末ユーザID211を設定し、電話番号212、携帯電話メールアドレス213、管理者サイト4に初めてアクセスした登録日214で構成される。

【0026】図7は、管理者端末4-3でメニューあるいはURLを登録するときのフローチャートであり、図8から図10はメニュー情報登録部30で表示する管理画面である。

【0027】まず、管理者端末4-3よりメニュー情報登録部30に接続すると(1001)、図8に示すように管理画面50が表示される(1002)。ここで表示されるメニューは、メニュー情報110の親管理番号115が「0」のもので、メニュー情報110の管理番号111とメニュー内容112が表示されている。

【0028】次に、編集するメニューの管理番号111の処理(編集)を選択、あるいは、メニュー追加を行う(1003)。例えば管理番号111を「7」と選択すると、図9に示すような編集画面51に、管理番号111が「7」のメニュー情報110である管理番号111・メニュー内容112・リンクタイプ113・URL114・親管理番号115が表示される。さらに、メニュー情報110の中から親管理番号が「7」を指しているものを探して、編集画面51のサブアイテム欄51-1にそれぞれの管理番号111とメニュー内容112を表示する。

【0029】ここで、表示されたリンクタイプ113が「階層」であれば(1004)、更に、次のサブアイテムを選択することができる(1005)。また、サブアイテムを選択せずに、登録内容を変更や削除、アイテムを追加することができる(1006)。

【0030】編集画面51から内容112を変更すると、メニュー情報110の内容112が書き換えられる。また、リンクタイプを変更し「階層」から「リンク」にし、接続するサイトのURLをメニュー情報110の113に入力すると、メニュー情報110のリンクタイプ113とURL114をそれぞれ設定する。リンクタイプを「リンク」にすると、サブアイテム欄51-1は表示されない。また、追加をすると新しいメニュー情報110を獲得し、その親管理番号115に、元になるメニュー情報110の管理番号111である「7」を設定する。

【0031】あるいは、サブアイテムの構成を編集するために、サブアイテムを選択するとサブアイテムの編集画面となる。ここで、表示されたリンクタイプ113が

「リンク」であれば、図10に示すような表示となり契約者サイトのURLがURL114に表示され、登録内容を変更や削除が行える(1007)。

【0032】この編集画面52で、リンクタイプ113を「リンク」を「階層」にするとURLは表示されず、図9の編集画面となる。以上の操作を繰り返し、アイテムの追加・削除を行い、メニュー情報110を階層構造につないでいく。

【0033】このメニュー情報110に登録する前に各契約者の情報は、契約者サイト情報120に、ユーザID121・登録するURL122・サイトの具体的な説明であるサイト説明123・サービスを開始したサービス開始年月日124とメニュー情報対応する管理番号111を設定し、管理者サイト4が各契約者サイト2を管理するのに利用する。

【0034】次に、図11のフローチャートにもとづき携帯電話端末3から契約者サイト2のホームページに、管理者サイト4のメニューから選択して接続する方法について説明する。

【0035】まず、携帯電話端末3から、管理者サイト4に電話をすると(2000)、管理者サイト4は検出部8で電話を受ける。検出部8では、発信者番号通知機能より携帯電話端末3の電話番号300を検出する(3000)。検出部8はURL情報作成部10に電話番号300を通知すると、URL情報作成部10で管理者サイト4のURLが記録されたメール310を作成する。さらに、携帯電話端末3の電話番号300の後ろに「@」と、その携帯電話事業者のドメイン名301、「〇〇〇〇.××.△△」を続けて図13に示すようにメールアドレスを作成し、このメールアドレスに作成したメール310をメール送信部9より送信する(3001)。

【0036】また、携帯電話端末3からの受信が新規の場合には、携帯電話端末ユーザ情報210の携帯電話端末ユーザID211・電話番号212・携帯電話メールアドレス213・登録日214を設定する。これにより、課金処理を行う。

【0037】URL通知部4-1から送られたメール310はネットワーク7を介して、さらに、携帯電話事業者サーバ6から各携帯電話端末3に送られる。以降、ネットワーク7と携帯電話端末3の間には、携帯電話事業者サーバ6が介されるものとする。携帯電話端末3では、図14に示すような管理者サイト4のURL320が記録されたメール310を受信し(2001)、受信したメール310を開き(2002)、管理者サイト4のURL320を指定する(2003)。

【0038】指定した管理者サイト4のURL320を送信すると(2004)、管理者サイト4でURL320が選択されたのを受信し(3002)、管理者サイト4のホームページ330を送信する(3003)。

【0039】携帯電話端末3では、管理者サイト4のホームページ330を受信すると(2005)、ブラウザを通して図15に示すようなメニューが表示される(2006)。メニューは、管理者サイト4のホームページ表示部20がメニュー情報110に基づいてホームページを作成する。

【0040】携帯電話端末3からは、メニューの階層をたどって選択していき、アクセスしたい契約者サイト2のホームページを選択すると(2007)、管理者サイト4に契約者サイトのホームページの選択を送信する(2008)。管理者サイト4でホームページの選択を受信すると(3004)、登録されている契約者サイト2のURLから契約者サイト2に接続できる。

【0041】このように、本実施の形態によれば、携帯電話端末3より管理者サイト4に電話をするだけで携帯電話端末3に管理者サイト4のURL320が記録されたメール310が送られてくる。このメールに入っている管理者サイト4のURL320を指定するだけで、管理者サイト4のURL320を入力しなくても契約者サイトおよび管理サイトを開くことができる。

【0042】また、携帯電話端末3よりかけた電話は、電話番号の検出のみに使い、通話状態になってない。

【0043】あるいは、第2の実施の形態として携帯電話端末3よりかけた電話を、通話状態にした後、切断して携帯電話端末3から契約者サイト2のホームページに接続することもできる。図12のフローチャートにもとづき説明する。

【0044】まず、携帯電話端末3から、管理者サイト4に電話をすると(2010)、管理者サイト4は検出部8で電話を受け通話とする(3010)。検出部8で、発信者番号通知機能より携帯電話端末3の電話番号300を検出後、通話を切断する(3011)。検出部8はURL情報作成部10に電話番号300を通知すると、URL情報作成部10で管理者サイト4のURLが記録されたメール310を作成する(3012)。

【0045】以下、携帯電話端末3よりかけた電話は、電話番号の検出のみに使い、通話状態にしない場合と同様の処理を行う。

【0046】このように、第2の実施の形態によれば、携帯電話端末3より管理者サイト4に電話をかけ通話状態にした後、通話を切断して管理者サイト4のURL320が記録されたメール310を送り、管理者サイト4のURL320を入力しなくても契約者サイトおよび管理サイトを開くことができる。

【0047】以上、述べてきた携帯電話端末はPHSをも含む概念である。

【0048】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、インターネット接続機能を有する携帯電話から、URLを全て入力することなく、管理者サイトに電話をするこ

とにより、電話番号の入力と数ステップのボタン操作だけで、ホームページを表示可能になるので、何時でも、何処でも、に加え、誰でも容易にインターネットを利用することができる。

【0049】また、インターネット接続機能を有する携帯電話から、管理者サイトに電話をかけ管理者サイトのホームページの表示をし、さらに、管理者サイトに登録した契約者サイトをメニュー形式で表示し、他の契約者サイトに簡単に接続できる。

【0050】さらに、メニュー形式で表示されるのでジャンル別に選択していくことができ、携帯電話端末からでも接続したい契約者サイトを容易に探すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 ホームページ接続支援システム1の構成を示す図である。

【図2】 ホームページ接続支援システムの機能を示すブロック図である。

【図3】 メニュー情報の内容を示す図である。

【図4】 メニュー情報が階層となっている状態を示す図である。

【図5】 契約者サイト情報の内容を示す図である。

【図6】 携帯電話端末ユーザ情報の内容を示す図である。

【図7】 メニュー情報を登録処理のフローチャートである。

【図8】 メニュー情報登録するときの管理画面を表す図である。

【図9】 メニュー情報登録するときのリンクタイプが階層の時の編集画面を表す図である。

【図10】 メニュー情報登録するときのリンクタイプがリンクの時の編集画面を表す図である。

【図11】 管理者サイトと通話せずに携帯電話端末から接続するときの処理を表すフローチャートである。

【図12】 管理者サイトと通話後切断して携帯電話端末から接続するときの処理を表すフローチャートである。

【図13】 携帯電話端末のメールアドレスを表す図である。

【図14】 携帯電話端末の画面に着信メールに入っている管理者サイトのURLを表示している図である。

【図15】 携帯電話端末の画面に管理者サイトのメニューを表示している図である。

【符号の説明】

- | | | |
|---------------|---------------------|--------|
| 1 | ホームページ接続支援システム | |
| 2、2-1、2-2、2-n | | 契約者サイト |
| 3、3-1、3-2、3-n | | 携帯電話端末 |
| 4 | 管理者サイト | |
| 4-1 | URL通知部 | |
| 4-2 | URL管理部 | |
| 4-3 | 管理者端末 | |
| 6 | 携帯電話事業者サーバ | |
| 7 | ネットワーク | |
| 8 | 検出部 | |
| 9 | メール送信部 | |
| 10 | URL情報作成部 | |
| 20 | ホームページ表示部 | |
| 30 | メニュー情報登録部 | |
| 100 | メニュー用データベース | |
| 110 | メニュー情報 | |
| 120 | 契約者サイト情報 | |
| 200 | 携帯電話端末用データベース | |
| 210 | 携帯電話端末ユーザ情報 | |
| 300 | 携帯電話端末の電話番号 | |
| 310 | 管理者サイトのURLが記録されたメール | |
| 320 | 管理者サイトのURL | |
| 330 | 管理者サイトのホームページ | |